

[サイクル]

vol.56

2021.March

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

s a i k u r u



集学的がん診療センター

がんという旗の下、

複数の診療科・多職種のプロフェッショナルが集う

— 手術・がん薬物療法・放射線治療・緩和ケア・がん相談・精神腫瘍 —



もりの都健康プロジェクト。特設セミナーvol.4

「新型コロナウイルスの最新情報と心臓病のお話」

オンデマンド配信中 2021.3.7～2021.8.31

<https://vimeo.com/521226069>



[information ▶01]

TAVI（経カテーテル的大動脈弁留置術） 通算500症例達成

2013年12月18日に1例目を行って以降、当院は全国に先駆けてTAVIの超低侵襲治療を取り組んでいます。本年、1月26日に通算500症例目を実施いたしました。ヨーロッパの最新鋭の施設と同様の手技、左心室内ペーリングでの施行と超音波を用いた穿刺（超音波ガイド下穿刺）をほぼすべての患者さんに行ってています。また95%以上を患者さんの身体により負担の少ない、局所麻酔下にて実施いたします。そのため、従来の全身麻酔に耐えることが難しい等、呼吸器/肺合併症をお持ちの患者さんにもTAVIを受けていただくことができるケースが増加しています。適応は手術リスクの高い症例に限られますが、心雜音のあるご高齢の患者さんに関しては、症状の有無にかかわらず一度ご紹介いただけますと幸いです。どうぞ当院までお気軽にご相談ください。

[information ▶02]

もりの都健康プロジェクト。特設セミナーvol.4

「新型コロナウイルスの最新情報と 心臓病のお話」開催



イベント情報はこち
らご意見等もお待ちして
おります



3月7日に、くまもと森都心プラザ図書館と共に「新型コロナウイルス最新情報と心臓病のお話」と題して特設セミナーを開催いたしました。第四弾となる今回は、だれもが気になる新型コロナワクチンの最新情報と外出自粛で進行してしまうかもしれない心臓病について講演いたしました。当日は166名（会場来場者59名、LIVE配信視聴者107名）の方にご聴講いただき、今回のテーマに対する関心の高さが覗えました。ご聴講いただきました皆さま、誠にありがとうございました。今後も地域一帯で健康な心と体をつくる取り組みを推進して参ります。

切れ目のないがん診療体制を目指して

2020年4月1日に、横断的にがん診療を統括する組織として「集学的がん診療センター」という組織を立ち上げました。この組織は、手術・がん薬物療法・放射線治療・緩和ケア・がん相談・精神腫瘍それぞれの領域を専門とするスタッフが一堂に会する多職種混合の組織です。医師をはじめ看護師・薬剤師・放射線技師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・臨床心理士・社会福祉士など幅広い職種により構成されています。さらに所属スタッフはそれぞれの職種の中でもぐんに精通した知識や技能、資格を有しており、専門性の高いがん診療を提供できる体制となっています。このセンターを立ち上げた最大の目的は、がんの患者さんやご家族に『集学的』な治療や支援ができる体制をより強固なものにすることです。これには、私自身も2度のがんを経験し、様々な治療を受けたという背景があります。一つ一つの治療で専門性の高い医療が提供できるだけでなく、患者さん目線で切れ目のない医療を提供することが重要であると身をもって痛感しました。当院のがん診療においても「手術・薬物療法・放射線治療・緩和医療」をそれぞれ担当する部門がありますが、これらの診療を横断的に管理・運営する組織が「集学的がん診療センター」です。



集学的がん診療センター長
菅 守隆

新しい横断的診療体制「総合腫瘍科」の立ち上げ

集学的がん診療センターの目指す「横断的にがん診療を統括する組織」の役割を、更に加速化・充実化させるために「総合腫瘍科」という新たな診療科を2021年4月1日より立ち上げます。総合腫瘍科は、手術・がん薬物療法・放射線治療・緩和ケア・精神腫瘍科それぞれの専門医が所属する診療科です。がんゲノム医療や精神腫瘍学などの新たな領域にも対応できるよう準備を進めてきました。がんと戦う患者さん一人ひとりに寄り添い、切れ目のない医療を提供することを使命に総合腫瘍科の活動をスタートさせます。同時に地域の医療機関の先生方にとっても利便性の高い受診方法の枠組みを構築し、相談や連携を取りやすい体制を整備していくことでお役に立てればと考えています。がん診療連携拠点病院としての役割を担い、連携を一層密にして今後も進化していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。